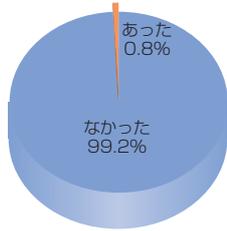


8 有償支給材の早期決済

全業種では、有償支給材の早期決済が「あった」が0.8%（前年2.1%）であり、「あった」（3企業）のうち、解決済は66.7%（2企業）となっている。

業種別にみると、「あった」は、金属製品、その他となっている。

有償支給材の早期決済



あった場合の経過

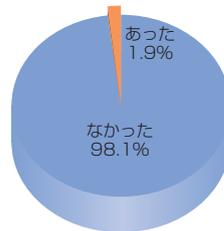


9 割引困難な手形の交付

全業種では、割引困難な手形の交付が「あった」が1.9%（前年1.0%）であり、「あった」（7企業）のうち、解決済は71.4%（5企業）となっている。

業種別にみると、「あった」は、金属製品、電気機械器具、その他となっている。

割引困難な手形の交付



あった場合の経過

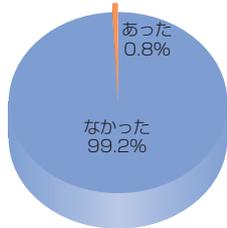


10 正当な理由がなくしての協賛金の徴収、従業員の派遣要請等

全業種では、正当な理由がなくしての協賛金の徴収、従業員の派遣要請等が「あった」が0.8%（前年0.8%）であり、「あった」（3企業）のうち、解決済は66.7%（2企業）となっている。

業種別にみると、「あった」は、その他となっている。

正当な理由がない協賛金の徴収、
従業員の派遣要請等



あった場合の経過

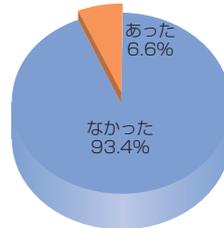


11 費用負担のない発注の取消、変更、やり直し

全業種では、発注側における費用負担のない発注の取消、変更、やり直しが「あった」は6.6%（前年4.7%）であり、「あった」（24企業）のうち95.8%（23企業）が解決済となっている。

業種別割合にみると、精密機械器具、樹脂・ゴム、繊維製品で「あった」が高い。

費用負担のない発注の取消、
変更、やり直し



あった場合の経過



いわて医療機器事業化研究会



いわて産業振興センターでは、去る12月1日（火）に盛岡市のホテル・ルイズを会場として今年度3回目の「いわて医療機器事業化研究会」を開催しました。

今回の研究会では、記念講演として岩手医科大学学長で当研究会の顧問でもある小川彰学長先生から「産学官連携に期待すること」と題し、ご講演をいただきました。日本の医療レベルの高さ（世界No.1）のお話に始まり、医師不足などの医療課題、岩手医科大学の産学官連携による先進的共同研究開発事例の紹介をいただき、併せて岩手県の民力を高めるためには、本県の特徴である農業分野を産学官連携で科学を取り入れた効率的経営への転換が必要であると述べられ、最後に日本の最大の資源である人材をつくるための教育（医育）と平時の最大の安全保障である医療を強化していくことが我が国の最優先政策であるというお話で結ばれました。

また、岩手県保健福祉部保健衛生課の千葉寛技師から「薬事法の概要・医療機器製造の許認可について」の講演と研究会会員企業2社から固有技術等のプレゼンテーションも行われ、研究会当日は、31社49名のご参加をいただき、県内企業の会員の皆様を始めとする産学官の幅広い交流を図ることができました。



記念講演 ●「産学官連携に期待すること」
岩手医科大学 学長 小川 彰 先生

研究会の活動等の詳細は、次のホームページをご覧ください。
URL <http://www.joho-iwate.or.jp/area/kentan/kentan.htm>

【会員企業数（平成21年12月末現在）】

- 正会員（県内ものづくり企業）58社
- 特別会員（大学、行政、支援機関等）14機関

【研究会共同代表（3社）】

- 共立医科器械(株)
- (株)東光舎
- 谷村電気精機(株)

「いわて医療機器事業化研究会」では、ご入会くださる会員の方を幅広く募集しています。

年会費・参加料は無料です。ご興味のある方は左記の事務局までご連絡ください。

いわて医療機器事業化研究会 事務局

財団法人 いわて産業振興センター

育成支援グループ 担当/村上

TEL.019-631-3822 FAX.019-631-3830

E-mail : joho@joho-iwate.or.jp